

町の幼児教育・保育施設の再編に関する計画

邑楽町 子ども支援課

(目次)

1. 計画の策定にあたって.....	1
2. 本計画の位置づけ.....	1
3. 各施設の園児数の推移.....	2
4. 園児一人にかかる公費負担の比較.....	3
5. 町の幼児教育・保育施設の再編ロードマップ.....	4
6. 町の幼児教育・保育施設について.....	5
7. 町の幼児教育・保育施設が直面する課題について.....	5
8. 再編計画について.....	5
8-2. 第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）の期間における再編ロードマップ.....	7
9. 町の幼児教育・保育施設の再編に関する職員向けアンケートの結果（概要版）【参考】.....	8
10. 町の幼児教育・保育施設の再編に関する保護者アンケートの結果（概要版）.....	9

1. 計画の策定にあたって

子ども・子育て新制度や幼児教育・保育の無償化の施行、共働き世帯の増加などの全国的な子育て支援に関する環境の変化に伴い、現在、町立幼稚園の園児数は減少し、十分な集団活動が行えないことや園行事の活性化に支障が出るなどの教育面や運営面での問題が生じています。また、保育園や認定こども園と比較して、保護者の負担や園児一人にかかる公費負担の増加も生じています。一方、町立及び私立保育園は、定員増の変更を行ってきましたが、現在も定員超過が続いている状況です。町の幼児教育・保育施設全体の教育内容の充実や施設運営の適正化を図るとともに、上記の課題を解決することを目的として、町の幼児教育・保育施設の再編について計画を策定することにしました。

2. 本計画の位置づけ

本計画は、令和6年度に町が策定する第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）の策定において子ども・子育て会議が参考とするための計画として位置づけられています。また、この計画は、子ども・子育て会議において承認を得て、町の幼児教育・保育施設の関係者において構成された子ども・子育て会議専門部会によって策定されています。

3. 各施設の園児数の推移

【参考】各年5月1日時点の幼稚園園児数

施設名	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
長柄幼稚園 認可定員：180 利用定員：105	96	87	87	73	72	51	42	35	36	35
中野幼稚園 認可定員：270 利用定員：150	148	133	123	110	93	82	60	54	55	53
合計	244	220	210	183	165	133	102	89	91	88

【参考】各年3月31日時点の保育園園児数

施設名	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6 見込み
中央保育園 認可定員：120 利用定員：120	105	106	107	113	116	117	128	129	123	124
南保育園 認可定員：120 利用定員：120	111	111	114	131	134	132	142	141	134	129
私立 風の子保育園 認可定員：100 利用定員：100	108	105	107	109	109	110	118	119	119	117
合計	324	322	328	353	359	359	388	389	376	370

※定員変更

中央保育園 H28 90人→100人 H29 100人→120人

南保育園 H29 100人→120人

風の子保育園 R3 90人→100人

【参考】各年3月31日時点のおうらこども園園児数

	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6 見込み
おうらこども園 教育利用 認可定員：60 利用定員：60	43	41	39	28	24	17	11
おうらこども園 保育利用 認可定員：150 利用定員：150	129	138	151	165	160	149	152
合計	172	179	190	193	184	166	163

4. 園児一人にかかる公費負担の比較

【参考】令和4年度の園児一人にかかるおおよその公費負担

	支出額 (A)	人件費相当額 (B)	(A) - (B)	園児数	公費負担/ 園児1人
幼稚園費	146,458,132円	79,994,712円	66,463,420円	89人	746,000円
保育所費	271,409,236円	194,381,269円	77,027,967円	389人	198,000円

※園児の年齢により職員の配置基準が異なるため、人件費に関わる部分を除く

※人件費相当額（報酬、給与、職員手当等及び共済費）

5. 町の幼児教育・保育施設の再編ロードマップ

子ども支援課 児童支援係

【各年度の目標】

- 令和6年度 第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）（以下「事業計画」という。）において、施設の再編後のあり方や準備にかかる期間を示す。
- 令和7年度～ 事業計画に基づき、再編に向けた準備を行う。

項目	令和6年度						令和7年度
	4月	6月	8月	10月	12月	2月	
子ども・子育て会議		●再編ロードマップの説明と意見の聴取、専門部会の設置	●専門部会の実施（子育て会議委員、保護者代表、園職員参加）	●事業計画案（再編計画を含む）の提示と意見聴取		●事業計画案（再編計画を含む）の承認	●再編に向けた準備の開始
事業計画			●再編計画を反映させる	●案の提示	●聴取した意見を反映させる	●パブコメの実施と意見反映 ●承認を受ける	
町（事務局・園）の再編計画（案）		●職員や保護者の意見を取りまとめ再編計画案を策定	●専門部会に報告 ●事業計画に溶け込ませる				
職員の意見聴取	●職員アンケートの実施	●職員向け懇談会実施					
利用者の意見聴取		●利用者アンケートの実施 ●利用者意見は随時園や役場で聴取	●専門部会で代表者から意見聴取 ～			●保護者説明会（翌年度4月）	

6. 町の幼児教育・保育施設について

町には、町立幼稚園2園、町立保育園2園及び町立幼保連携型認定こども園1園の幼児教育・保育施設があります。

施設名	種別	所在地
長柄幼稚園	幼稚園	狸塚 1256
中野幼稚園	幼稚園	中野 3176
中央保育園	保育園	中野 4398-1
南保育園	保育園	篠塚 1735-1
おうらこども園	幼保連携型認定こども園	藤川 451-4

7. 町の幼児教育・保育施設が直面する課題について

第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）の期間において、町が取り組まなければならない課題は、町立幼稚園の園児数の減少の問題です。現在、町立幼稚園では、十分な集団活動が行えないことや園行事の活性化に支障が出るなどの教育面での問題が生じています。一方、町立及び私立保育園は、定員超過が続いている状況です。令和6年4月から5月にかけて実施しました町の幼児教育・保育施設の再編に関する職員向けアンケートでは、80%の職員が「幼稚園統合を進めるべき」「幼稚園統合はやむを得ない」と回答しており、令和6年6月に実施しました町の幼児教育・保育施設の再編に関する保護者向けアンケートでは、83%の保護者が「幼稚園統合を進めるべき」「幼稚園統合はやむを得ない」と回答しています。町立幼稚園の園児数減少の問題の解消については、職員及び保護者ともに必要性を感じている状況です。

8. 再編計画について

第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）の期間において、下記の通り再編を実施することが望ましいと考えます。

(1) 町立幼稚園の統合について

令和9年度に町立中野幼稚園と町立長柄幼稚園を統合し、町立長柄幼稚園の施設において、幼稚園型認定こども園を設置します。

- ・統合にあたっては、令和7年度に、新設する幼稚園型認定こども園の施設・運営（統合園の名称、教育・保育内容や職員配置（勤務形態）、現在中野幼稚園で実施している子育て支援拠点事業や園開故事業のあり方）について検討を行い決定し、令和8年度に児童・職員間の交流事業を実施することで、スムーズな移行を図ります。
- ・新設する幼稚園型認定こども園の開所時間は、町立保育園・認定こども園と同様の午前7時30分から午後6時30分までとし、町内の2号認定及の園児を預かることができる施設とします。

- ・3号認定の園児（3歳未満児クラス）の預かりについては、調理室や乳児室の施設整備を要するため、今後のニーズ量の状況や、他の町の計画等を鑑みたくえで検討します。検討にあたっては、保育園や認定こども園が定員超過していることやこども誰でも通園制度の施行による利用増を考慮し進める必要があります。
- ・町立中野幼稚園の園舎は昭和54年に建設されており45年経過しています。一方、町立長柄幼稚園の園舎は平成26年建設と比較的新しい状況です。施設の利便性、安全性や老朽化の面から考え統合後の施設は、町立長柄幼稚園の園舎を利用します。

（2）町立保育園の定員減について

町立中野幼稚園と町立長柄幼稚園の統合により、幼稚園型認定こども園が設置され、3号認定の預かりが実施された場合については、入園申込みの希望状況を鑑みながら、町立保育園の定員減を行い、町立中央保育園と町立南保育園の定員を段階的に90人まで減少させます。

- ・町立保育園は、いずれも定員90人を想定され設計されている施設ですが、120人まで定員増を行い受け入れています。これに伴い、町立保育園では、保育室や備品や駐車場の不足により、支障が生じている状況です。

（3）町立幼保連携型認定こども園の類型変更について

町立幼保連携型認定こども園については、施設の類型が幼保連携型認定こども園であることから、職員の負担が大きいことが問題となっています。そのため、他の類型に改めた場合に、園児、保護者及び職員に対してどのようなメリット、またはデメリットがあるのかを整理し、メリットが大きいようであれば、類型の変更を行います。

- ・幼保連携型認定こども園については、監査や書類等の事務負担が、幼稚園や保育園の2倍の負担があるといった職員の意見があり、改善が必要であると考えます。しかしながら、類型の変更に関しては、職員だけではなく園児や保護者への影響も十分に考慮し、進めていく必要があると考えます。

（4）その他

町の幼児教育・保育施設の再編にあたっては、施設の再編だけではなく、次のことについてもあわせて検討し、実施を進めていく必要があります。

- ・研修の充実
- ・ICT化
- ・業務の効率化
- ・職員配置や人材確保の方法
- ・統合後の空き施設の活用方法

8-2. 第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）の期間における再編ロードマップ

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
町立幼稚園の統合	●新設する幼稚園型認定こども園の施設・運営について検討	●児童・職員間の交流事業 ●統合準備	●統合		
	●3号認定の園児の預かりの検討、準備（施設整備）や預かりの実施については、随時実施していく。				
町立保育園の定員減	●新設する幼稚園型認定こども園での3号認定の預かりの開始やニーズ量の状況をふまえ、段階的定員引き下げを開始する				
町立幼保連携型認定こども園の類型変更		●類型変更の検討	●（類型変更の実施準備）	●（類型変更）	
その他	●その他項目の検討	●（その他項目の実施準備）	●（その他項目の実施）		

※「()」については、不確定項目。

9. 町の幼児教育・保育施設の再編に関する職員向けアンケートの結果（概要版）【参考】

◆ 調査対象及び回答者数

調査対象：町立幼稚園、保育園及びこども園に勤務する園職員 約140名

回答者数：133名（回答率 約95%）

◆ 調査期間

令和6年4月22日から令和6年5月2日まで

◆ 調査結果（主な意見）

- 1 町立幼稚園の園児数が減少している問題に対して、町立幼稚園を統合する（町内の保育ニーズが引き続き高い場合は、あわせて保育機能を有する施設に変更する）ことにより、改善を図ろうと考えていますが、そのことに関するあなたのお考えをお聞かせください。

（回答者数（人））

この改善策を進めるべきだと考える。	27
やむを得ないことだと考えている。	79
わからない。	21
この改善策ではなく、以下の改善策を推進するべきである。	5
回答なし	1
総計	133

- 2 町立幼稚園の園児数が減少している問題により、あなたが困っていることをお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、こども園の園児数が多いため、ゆとりの保育ができない。 ・ 保育園の駐車場等の設備が足りていない。 ・ 保育園、こども園では、園児数の増加により人数に比べて保育室が狭く備品などが不足している。 ・ 幼稚園の発表会や運動会等、集団で取り組む演目が限られてしまう。 ・ 幼稚園のこども達の集団での経験が不足している。 	等
---	---

- 3 町の幼児教育・保育施設の再編を行うにあたって、あなたが業務上において改善を図りたいと思うことをご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT化を進めていきたい。 ・ 研修を通して、学んでいきたい。 ・ 業務の効率化を図っていきたい。 	等
---	---

- 4 町の幼児教育・保育施設の再編にあたって、あなたが希望することをご記入ください。
（原文重視）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や職員の意見や思いを取り入れて欲しい。 ・ 保護者や職員への説明などを今後もお願いしたい。 	等
---	---

10. 町の幼児教育・保育施設の再編に関する保護者アンケートの結果（概要版）

◆ 調査対象及び回答者数

調査対象：町立幼稚園・保育園・認定こども園を利用する保護者

回答者数：250名

◆ 調査期間

令和6年6月3日から令和6年6月14日まで

◆ 調査結果（主な意見）

1 あなたのお子さまが利用している園を教えてください。

中央保育園	64
南保育園	60
おうらこども園	71
中野幼稚園	31
長柄幼稚園	22
その他（風の子保育園）	1
回答なし	1
総計	250

2 あなたのお子さまの年齢（クラス）を教えてください。（きょうだいで在園する場合は複数にチェックしてください。）

0歳クラス	12
1歳クラス	39
2歳クラス	49
3歳クラス（年少）	64
4歳クラス（年中）	62
5歳クラス（年長）	76
回答なし	1
総計	303

3 町立幼稚園の園児数が減少している問題に対して、園を統合する（必要に応じて認定こども園など長時間の預かりに対応できる施設への変更も検討する）ことにより、改善を図ろうと考えています。そのことに関するあなたのお考えをお聞かせください。なお、別の方法で改善を図ってほしいと思われる場合につきましては、「その他」を選択し、その方法を記入してください。

（回答者数（人））

この改善策を進めるべきだと考える。	93
やむを得ないことだと考えている。	115
わからない。	41
この改善策ではなく、以下の改善策を推進するべきである。	1
総計	250

4 町立幼稚園の園児数が減少している問題（それに伴い保育園や認定こども園の利用者が増加している問題）により、あなたが困っていることをお聞かせください。（原文重視）

- ・希望する保育園に入れなかった。
- ・保育園の駐車場が不足している。
- ・幼稚園での集団生活が少人数になってしまい、小学校に適応できるか不安。
- ・集団で実施する行事の合唱、合奏、遊戯等がとても寂しい。
- ・幼稚園の保護者の役員等、親の負担は以前より増えていると思う。

等

5 町の幼児教育・保育施設の再編とあわせて、改善を図ってもらいたいとあなたが思うことをご記入ください。（原文重視）

- ・職員や駐車場の増加をしてほしい。
- ・連絡帳や出欠報告を電子化して欲しい。
- ・保育園の手紙を小学校のようにデジタル化してほしい。

等

6 町の幼児教育・保育施設の再編にあたって、その他ご意見などがございましたらご記入ください。（原文重視）

- ・保育士等の職員の意見を尊重して検討を進めてほしい。
- ・保護者との対話を行い進めてほしい。
- ・再編後も幼稚園教育を残してほしい。

等